参考資料３

公共施設マネジメントゲーム体験ワークショップ　実施結果報告

１　日時

令和元年６月１日（土）１４：００～１６：００

２　場所

千葉市生涯学習センター　３階　研修室１

３　参加者

市内在住・在勤・在学している方　２０名（※申込者総数　２２名）

（内訳）	１０代	２０代	３０代	４０代	５０代	６０代	７０代	計
男性	1	8	0	2	3	1	1	１６
女性	1	1	0	0	1	1	0	4
計	2	9	0	2	4	2	1	２０

４　実施目的

公共施設マネジメントゲームを通じて、公共施設マネジメントに対する理解を深めてもらう。

５　実施内容

（１） 講義「千葉市の資産経営の取組み」（人口減少の見通し、更新費用の見込み、具体的な取組）
（２）公共施設マネジメントゲームの実施（ルール説明、ゲームの実施）
（３）意見交換

６　当日の様子

スライドを参照

７　実施結果

・大学連携の一環として、市内大学にチラシを配布した結果、２０代の参加者が多く集まった。
・アンケートにて、参加した理由を聞いたところ、「公共施設マネジメントゲームに興味があったから」という回答が一番多く、４８％を占めていた。このことから、「公共施設マネジメントゲーム」というキーワードが市民の関心をひいたものと考えられる。
・アンケートにて、「とても参考になった」または「参考になった」という回答が９０％を占めており、参加者にとって公共施設マネジメントの理解を深める良い機会となった。
・一方で、公共施設マネジメントゲームに対して、「シミュレーションとしては甘い。ゲームとしては適当。」と、ゲームの設定に現実味がないとの指摘があった。
・ゲームの内容をより現実に近いものにできるよう改善するとともに、次年度以降のワークショップ開催について検討を続ける。
・開催規模及び開催頻度については、大規模な会場で年１回実施するよりも、小規模な会場で複数回実施したほうが良いという回答が多かった。（６０％）